

没後120年記念

透	北
谷	村

—アンビシヨンのかなたに—

平成26年

8/21(木)~9/23(火・祝)

9:00~17:00 (入館は16:30まで)

小田原文学館

詩人、作家、  
あるいは  
評論家。  
20年ぶりの  
展覧会。



入館料 大人250円・小中学生100円 (団体割引有)  
主催 小田原市立図書館  
協力 北村透谷研究会  
問い合わせ 小田原市立図書館サービス係 電話 0465-24-1055

直筆資料公開!

# 25年の生涯を駆け抜けた、明治の天才。

文学・評論の分野で先駆的な作品を残した北村透谷の没後一二〇年にあたる今年、小田原文学館では、特別展を開催します。

小田原に生まれた透谷は、青年期に自由民権運動にかかわりますが、一八八九（明治二二）年に『楚囚之詩』を刊行し、以後文学者として歩みます。評論「厭世詩家と女性」では、日本で初めて近代的な恋愛観をとえ、島崎藤村はじめ当時の知識人に鮮烈な印象を与えました。

透谷は、詩・評論・戯曲・人生論など多岐のジャンルにわたる、わずか二五年の人生で手がけた作品は、約一〇〇点にのぼるといわれます。二〇年ぶりの透谷展となる本展では、書簡や著書を中心に約六〇点を展示します。

透谷が好んだ「アンビション」という言葉は、「大望・野心」などと訳されますが、彼の抱いた「アンビション」はどのようなものだったのでしょうか。書簡や複製原稿などから彼の作品や思想に迫ります。



北村透谷 (1868-94年)  
明治期を代表する詩人・評論家。代表作は『楚囚之詩』『蓬萊曲』『厭世詩家と女性』『人生に相渉るとは何の謂ぞ』など。

## 没後120年 北村透谷 —アンビションのかなたに—

### 【関連行事】

#### 学芸員による展示解説

開催日 8月24日(日)  
9月9日(火)・21日(日)  
開催時間 午後1時半から30分程度  
会場 小田原文学館本館 一階展示室  
費用 250円(文学館入館料として)  
申込 不要

#### 学んでガッテン学芸員講座

開催日 9月9日(火)  
開催時間 午後1時半から午後3時  
開催内容 ギャラリートークと懇親会  
会場 小田原文学館本館 一階展示室  
費用 500円

申込・問合せ 清閑亭  
0465・22・2834

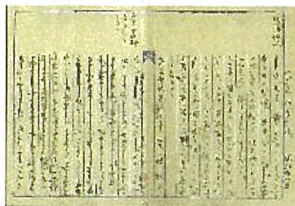
#### 朗読「透谷を聴く」

透谷作品を耳で楽しむ朗読会。普段は一般公開していない岡田邸が見学できます。

開催日 8月31日(日)  
開催時間 午後3時〜午後4時半  
出演者 明治文学を語る会  
会場 岡田邸(文学館斜め向い)  
費用 500円  
定員 先着30名  
申込・問合せ 小田原市立図書館  
0465・24・1055



「蓬萊曲」公演ポスター  
神奈川近代文学館蔵



北村透谷「富士山遊びの記臆」  
小田原市立図書館寄託(複製品を展示)



とくぼく  
平田亮木書簡 神奈川近代文学館蔵

### 本展のみどころ

- 透谷の吉野泰三宛自筆書簡
- 『透谷全集』を編んだ島崎藤村の直筆原稿
- 小田原を訪れた美那子(透谷夫人)の日記
- 透谷「富士山遊びの記臆」全文 など

入館料 大人250円、小中学生100円  
(団体・障がいをお持ちの方割引有)  
開館 午前9時〜午後5時  
(入館は午後4時30分まで)  
休館日 会期中無休  
アクセス 小田原駅東口から徒歩約20分  
または小田原駅東口から箱根方面行バス  
「箱根口」下車徒歩約5分

## 小田原文学館

神奈川県小田原市南町2-3-4  
電話 0465-22-9881



次回特別展示 平成26年10月〜12月予定  
「藪田義雄 白秋とともに」(仮)  
やぶた よしお  
明治35年に小田原で生まれ、今年没後30年を迎える詩人藪田義雄の業績を、師であり秘書もつとめた北原白秋との関わりも交えてたどります。